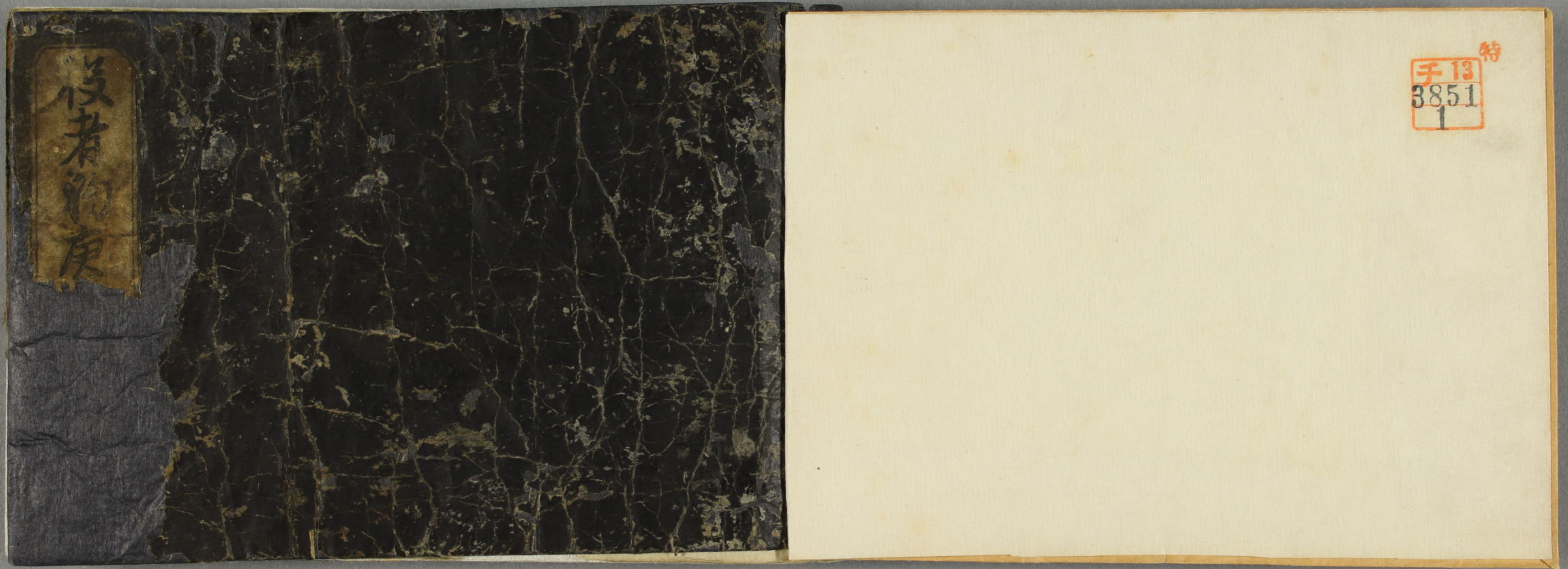
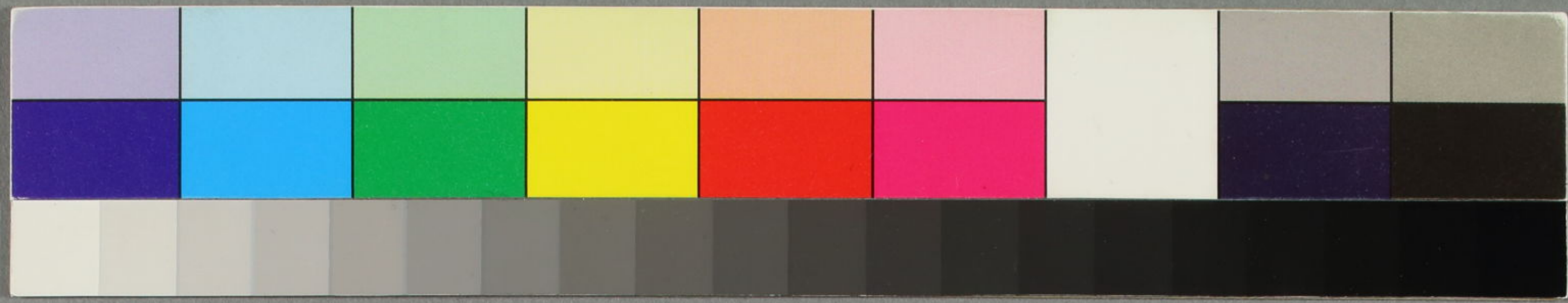


役者評判記

千13
3851
1





收者初庚申 藝永堂

京之巻目錄

庚申侍乃田楽と

のり收者れ

みそと付ぬらひされ

うや者控の

高れまのりも

ひびきの

かぢ〜



育く藤かこ

よ一敷

は内乃出来ふ出

七い方れそあへもの

押至方へ先内入乃

内神楽く

時うつま

宝蓋へ悪び法者

り色かりぬ

静見世 粗言

京家三芝居敷者同様
名代早雲長天社中沢村三郎
名代有徳在捕系社中嵐松之惣

▲立役之部

○足喜とる野野守乃のどく

上吉 搦山に而三 飛丸

二のりのみ粗言と松風

上吉 坂東助三郎 伏見

乃布と立役乃 搦山

上吉 江戸坂東石巻 飛丸

為余守乃のどく 飛丸

上吉 坂東満 伏見

こんどの粗言

上吉 行中

久く

上吉

上上

亭

上上

亭

上上

小川

上上

嵐

上上

市野川

上上

松

上上

萩野

上上

上浦山

上上

山

上上

大谷

上上

桐

上上

歌

上上

友

上上

山

上上

又

上上

大井

上上

山下

上上

秋

京申

三

上 中村物又市 尻丸

江戸といひてどころうさる

上 佐川津屋 三林山付花尻

上 八幡若菜屋 市川若菜屋

上 嵐傳達屋 上 嵐八又市 尻

▲若菜形之計

至極上吉 中村富士市 尻丸

今年中ふんふんの石橋

上上吉 林山巨匠市 尻丸

當年の親父の書如くはこれ

上上吉 嵐 富士之助 尻丸

けんの秘蔵の秘蔵の秘蔵

上上吉 嵐 三 勝 尻丸

江戸小書乃々も 流田川色

上上吉 沢村由去市 尻丸

又物があつて移ろひの秘蔵

上上吉 嵐 松之患 尻丸

尚親の書の秘蔵もみられ

上上 佐川津屋 三林山付花尻

江戸といひてどころうさる

上上 山下六三市 尻丸

人ふらつてはくさす

上上 佐川津屋 三林山付花尻

仕かしの書乃々も 流田川色

上上 中村等之助 尻丸

没かふいふの 白小籠

上上 佐川津屋 三林山付花尻

あひのいとしんと 俵の石

▲沢村物又子之分

一 萩屋若菜屋 一 中村八江八

一 嵐若菜屋 一 中村松連去

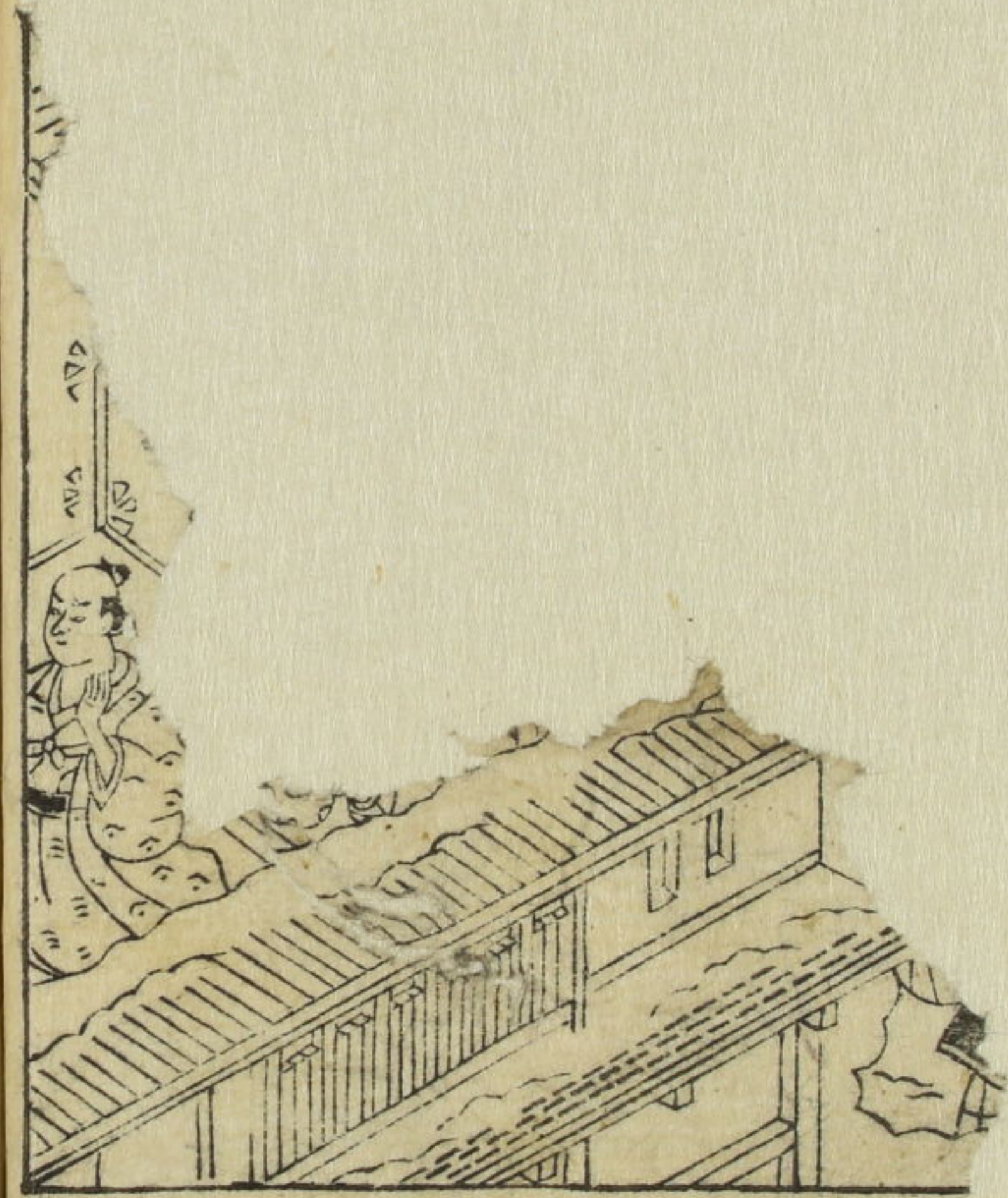
一 中村松連去 一 山下若菜松

一 嵐若菜屋 一 一 若菜松

▲嵐若菜屋 一 若菜松

一 林山巨匠市 一 若菜松

一 佐川津屋 一 若菜松



七言五言の句

言(句)坂東満花 以舞

之酒飲み守宿終末をたのむ歌を流

ふくまはるるるるるるるるるるるる

道徳の道徳の道徳の道徳の道徳の道徳

の向ふの道徳の道徳の道徳の道徳の道徳

道徳の道徳の道徳の道徳の道徳の道徳

ふくまはるるるるるるるるるるるる

とろくろを花押の同系無常なるまじい事を

手紙の書き方と花押の書き方とを懐懐の心持で

又終末の書き方と花押の書き方とを懐懐の心持で

の対面力由の書き方と花押の書き方とを懐懐の心持で

の書き方と花押の書き方とを懐懐の心持で

の書き方と花押の書き方とを懐懐の心持で

の書き方と花押の書き方とを懐懐の心持で

の書き方と花押の書き方とを懐懐の心持で

の書き方と花押の書き方とを懐懐の心持で

の書き方と花押の書き方とを懐懐の心持で



正收之市一以契

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此の巻は、^二徳川家^一の御歴代、
御紀略の御事、^三御代官^二の御事^一
御代官の御事、^四御代官の御事^一
御代官の御事、^五御代官の御事^一

此の巻は、^二徳川家^一の御歴代、
御紀略の御事、^三御代官^二の御事^一
御代官の御事、^四御代官の御事^一
御代官の御事、^五御代官の御事^一

世に傳へしは...
別名不承く...
中約...
[Seal]

...
[Seal]
...
[Seal]

此類名有...
...
...
...

上吉
山幸
京官師
...

五七拾日...
條状...
なる...

Handwritten notes in a columnar format, including a boxed section with vertical text.



Handwritten notes at the top of the right page, partially obscured by a tear.

醫三年又...
其最出...
其...
上 山 中 平 十 節

...
...
...
上上

...
...
...
...
...
...
...

外
百
...

...



一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

此書は... 記述... 事... 記...

上三 嵐 二 晴 月

此の年... 嵐... 晴... 月... 記述... 事... 記...

此の年... 嵐... 晴... 月... 記述... 事... 記...

此の年... 嵐... 晴... 月... 記述... 事... 記...

▲ 乃 氣 形 之 部

主 言 山 下 氣 之 物 氣

主 言 山 下 氣 之 物 氣

主 言 山 下 氣 之 物 氣

主 言 山 下 氣 之 物 氣

乃 氣 形 之 部

藝文部
大正
花
全部
巻

右之書為正月中旬之本
中其高所亦亦亦亦亦

板元

京町鑑

懐中本

全部一冊

縦横町小路通筋古名西陣
聚樂上京下京言町新町

後者初庚申
印

手多13
236
41

寶曆十四甲申歲ヨリ
嘉永二酉歲迄凡八拾六年
横川菴藏



後者初庚申

蘇州

江戸巻目錄



庚申精をより

や弱座を久入れ

芝居

切がしつゝりゆ

見物のふん

えいし

舞臺

屏風

立

甲

ユ

...

壺とほいて見よある

人ぐもわらざる

藝乃ちりりこに

熟うあけり

わらわく

花道よりあぢうくの

ひじりあ

板と久しりの

よ牙市川との

わあといふ

代お名物く

江戸三喜活物扱者目録
さうの所 中村七三郎社
あつた所 市村ねん馬つ社
こびの所 夷田勘弥社

▲立役之部

○足立家のやまきふあれたのぞ

極上吉 市川團十郎 中村七三郎

上上吉 市川團十郎 中村七三郎

本上吉 中村七三郎 中村七三郎

上上吉 坂東三三 八

上上吉 富沢辰十郎 中村七三郎

上上吉 市川雷蔵 中村七三郎

あんてもそまふあつたあつたあつた

上上寺 坂東寺三席 日元

上上寺 大谷後法 日元

上上寺 市川多摩寺 日元

上上寺 中村仲三郎 日元

上上寺 市川八百三郎 日元

上上寺 沢村宗十郎 日元

上上寺 尾上春又席 日元

上上寺 沢村宗十席 日元

上上寺 坂回半又席 日元

上上寺 大谷後法 日元

上上寺 中村三南 日元

上上寺 松本春四席 日元

上上寺 相山紋治 日元

上上寺 中村仲三郎 日元

上上寺 坂東又三席 日元

上上寺 坂回半又席 日元

上上寺 沢村大治 日元

上上寺 中村三南 日元

上上寺 坂東又三席 日元

上上寺 坂回半又席 日元

坂東寺三席 日元

大谷後法 日元

市川多摩寺 日元

中村仲三郎 日元

市川八百三郎 日元

沢村宗十郎 日元

尾上春又席 日元

沢村宗十席 日元

坂回半又席 日元

大谷後法 日元

中村三南 日元

松本春四席 日元

相山紋治 日元

中村仲三郎 日元

坂東又三席 日元

坂回半又席 日元

沢村大治 日元

中村三南 日元

坂東又三席 日元

坂回半又席 日元

上上中 徳念平九帝多村

とちそのみづのへきといふが

上上中 中村徳久日

上上中 中村志光日

上上 文清十郎中村

上松平秀十郎中村

上市川松平中村

上中村良良中上

上坂東又八上坂

上坂東隆上坂

上坂回八

上中村宗次上坂

上中村良良上坂

上尾上原上中

上中村徳久上坂

上中村印八上坂

上市川徳盛上坂

上矢野八上坂

上上 市川香入市川

上 坂回市川

▲道外形之部

上上吉 嵐音八市川

上上吉 沢村市川

上 市川久市川

上 市川久市川

▲美形之部

上上吉 市川市川

上上吉 市川市川

上上吉 市川市川

上上吉 市川市川

上上吉 市川市川

上上吉 市川市川

上上吉 市川市川

上上吉 市川市川

上上吉 市川市川

上上 中村松江 中村松江

上上 沼沢八幡神 沼沢八幡神

上上 三浦龜太郎神 三浦龜太郎神

上上 沢川市之邊 沢川市之邊

上上 沢村小次郎 沢村小次郎

上上 山嵐 山嵐

上上 市川 市川

上上 松平七花 松平七花

上上 龜倉十次 龜倉十次

上上 中村社及子之分

上上 市川 市川

上上 小俣 小俣

上上 沢村 沢村

上上 市村 市村

上上 小俣 小俣

上上 沢村 沢村

上上 沢村 沢村

上上 沢村 沢村

上上 沢村 沢村

上上 沢村 沢村

一坂小幼之儀 あま井 一芳次孝之翁 梅の
 不依川榮三段 三段の 一坂末大次段 あま井
 上上吉 之儀 尾上之儀又断 あま井
 知事宗九郎之儀 あま井の目録
 ▲あま井元之郎

上上吉 中村鶴九郎
切落止之儀あま井の三ひげ

上上吉 中村勘三郎
あま井

上上吉 市村飛之彦
大入とてつとあま井の目録

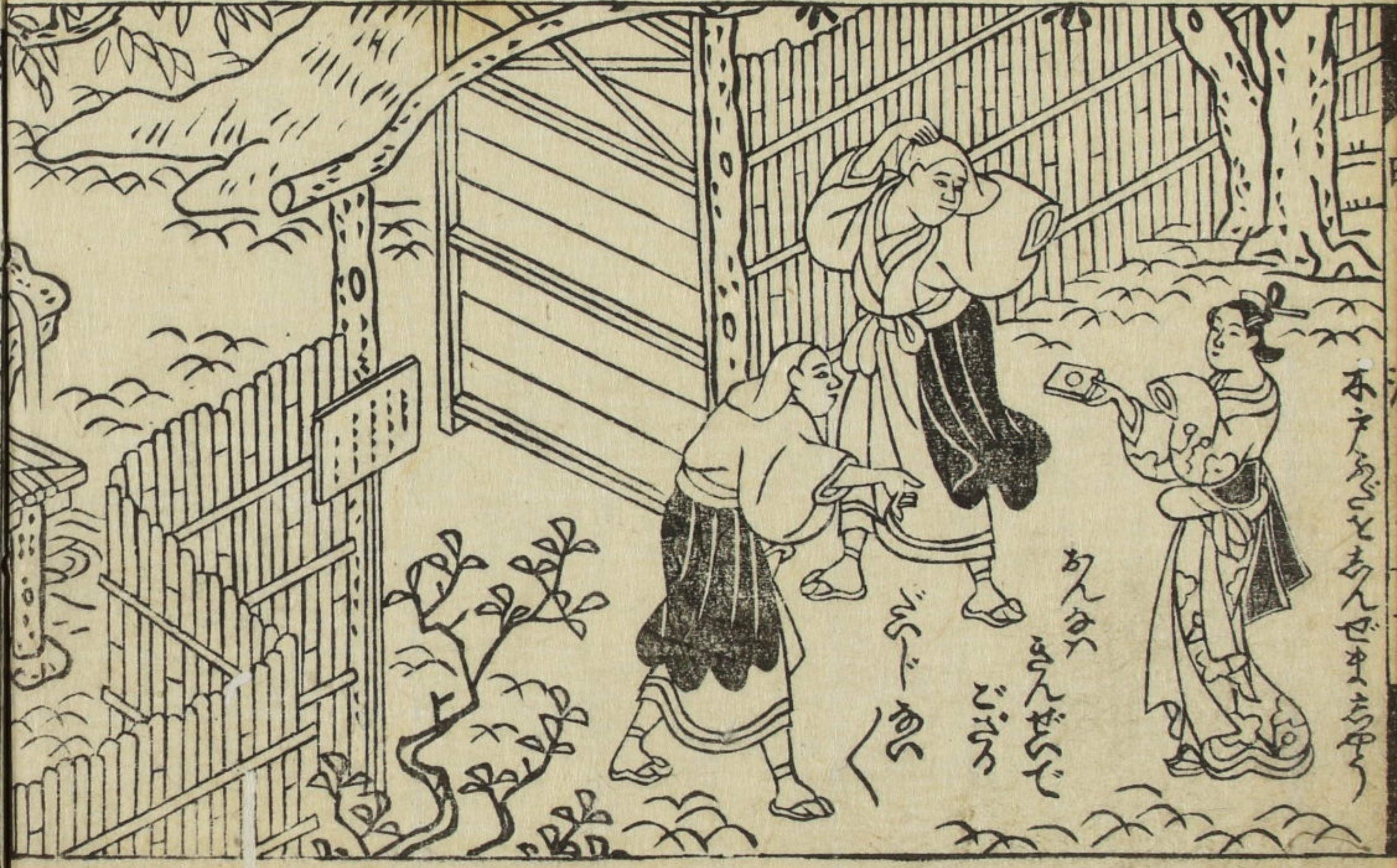
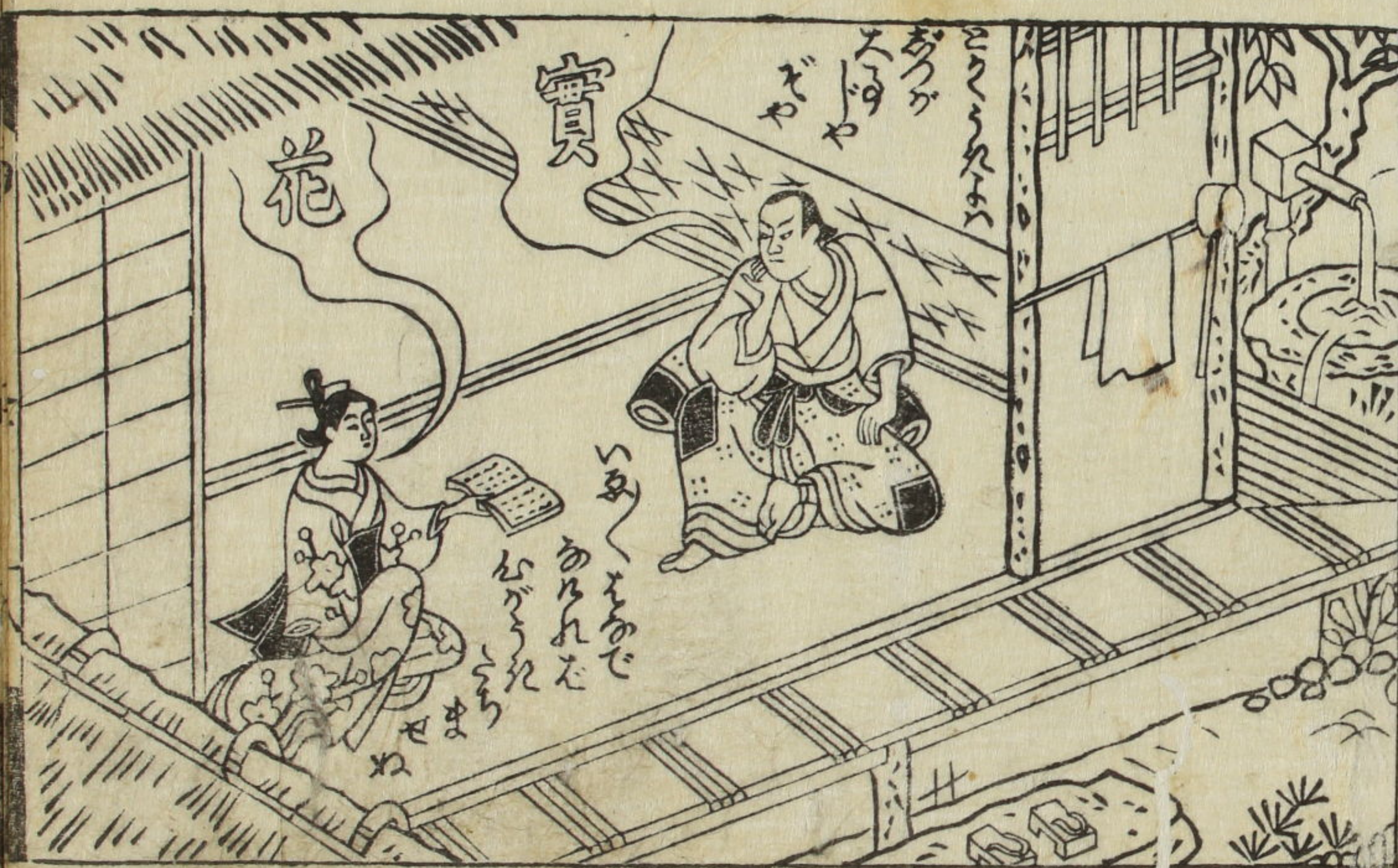
本上吉 市村将太郎
あま井とてつとあま井の目録

上上吉 市村回幼弥
あま井とてつとあま井の目録

○寛永十八年六月廿日
 釋 義善 信士 俗名長井兼相 行年三十分
 小川若女長後治之儀 あま井の目録

小川若女長後治之儀 あま井の目録
 あま井元之郎の目録 あま井の目録
 あま井飛之彦の目録 あま井の目録
 あま井将太郎の目録 あま井の目録
 あま井回幼弥の目録 あま井の目録
 あま井鶴九郎の目録 あま井の目録
 あま井勘三郎の目録 あま井の目録
 あま井飛之彦の目録 あま井の目録
 あま井将太郎の目録 あま井の目録
 あま井回幼弥の目録 あま井の目録

甲 二六



て相違ふ事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 結ぶ事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは

本上吉 申 申村 七 二 一 一 一 一 一 一

申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは

上上吉 申 申村 三 一 八

申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは
 申す事なき事なりと申すは

上上

春果尾上果又命

多言以交果尾上果又命
小作果又命又命切方三しく

▲実果之部

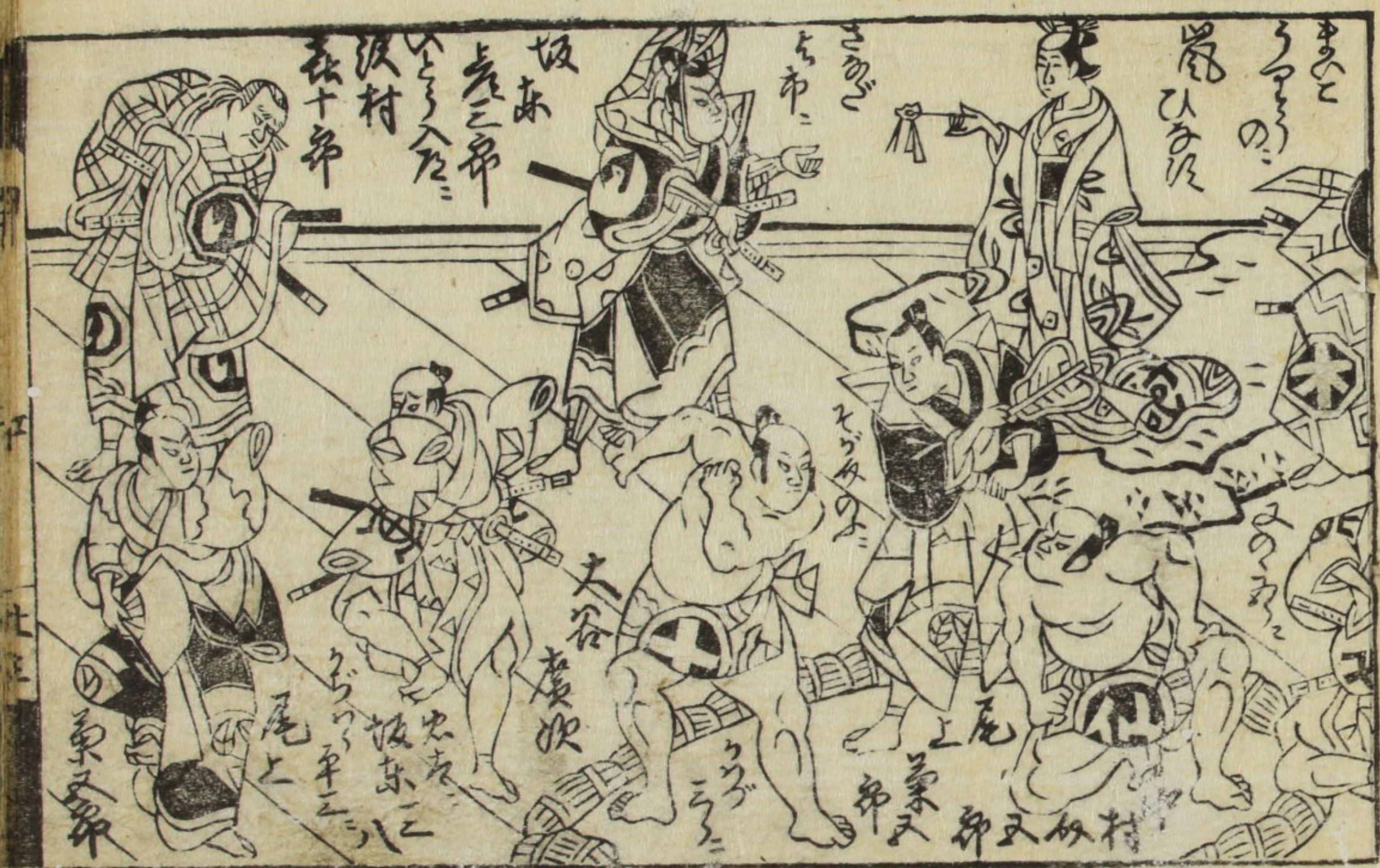
上上吉

○以村字十命

果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく

上上吉 坂田字八命
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく

果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく
果又命尾上果又命切方三しく
小作果又命又命切方三しく



香後美家... 中村... 又...

上上 中村... 又...

香後美家... 中村... 又...

上上 中村... 又...

香後美家... 中村... 又...

上上 中村... 又...

▲道和於之部

本吉吉 音八

香後美家... 中村... 又...

上上 中村... 又...

香後美家... 中村... 又...

上上 中村... 又...

香後美家... 中村... 又...

▲長女形之部

上上吉 中村... 又...

香後美家... 中村... 又...

家老の忠告...
長生堂の地蔵...
自修の事...
小女...
上上吉

上上吉 芳沢又師 一貴

院...
孝...
弟...
考...
方...
上上

中村 松江

上上

上上

上上

上上

上上

上上

上上

上上

上上

上上

上上

上上

上上

上上

上上

○は西のあきり一山初七日の
三ヶ津二のりつ藝事定

後者今川状金部無

附川
今川う後息具仲秋制河守こ

と二の若の朝向
不知無道言道波終少地

大為事
好川道遠樂云益梅幸

色子之車不逆礼的之乃
我信事

在し中來三月八日
乃其言の以來以後存教の

板元八文字卷八為

諸國らんすすまふたの
國字後入

古今相撲大全

全部五卷

新撰

漢土朝鮮天空三國角能故事

本朝捕力監賜童相撲中古

角力故實神事捕力之式

御前角力作法勸進相撲紀原

舊地考相撲場古例近例

行司傳來古今相撲人姓名
四十八手新平等至近は記録
詳記之

右之書新板出來ははのい込中
出中ゆ乃内來の後存頼六以上
板元

